



|   |                      |   |
|---|----------------------|---|
| 〈学位論文〉  |                      |   |
| [1] タイトル 「エコロボット製作における社会への役割」                               | 2018年2月              |   |
| 〈国際学会発表〉  |                      |   |
| [2] タイトル「〇〇〇〇」△△学会 ××大学                                     | 2017年6月2日～4日         | 学会等発表<br>タイトル、発表学会名、発表<br>場所、発表年月日を記入して<br>ください。  |
| 〈国内学会発表〉  |                      |   |
| [3] 「〇〇〇〇」■■■学会◆◆センター                                       | 2016年7月15日～17日       |   |
| 〈表彰〉  |                      |   |
| [4] [3] の若手発表優秀者部門での表彰                                      | 2016年4月1日            |   |
| 〈学術論文〉  |                      | 学術論文<br>発表論文名、発表学術誌<br>名<br>発表年月日、発表者名、該<br>当箇所を記入してください。                                     |
| [5] 「〇〇〇〇」□□大学論文集第38巻2号p.24-30                              | □ 法政 太郎              |   |
| [6] 「〇〇〇〇」 Vol. 100, No. 80, p1-5,                          | Apr.2016 ……          |   |
| [7] 「〇〇〇〇」 □月号 (2016年11月) ……                                |                      |   |
| 〈授業科目の成績〉   |                      | 特に優れた業績を証明する<br>資料を併せて提出する必<br>要があります。書類に[1]、<br>[2]…と付記し左記のど<br>の証明書類か第三者にも<br>わかるようにしてください。 |
| すべての科目で「A+」を取得した。   |                      |   |
| 〈研究又は教育に係る補助業務の実績〉  |                      |   |
| [8] TA  | 2016年4月1日～2016年9月30日 |   |
| 注意) ※共同発表、共著の場合は自分の氏名にマーカーを引いておくこと。<br>※日付や年度にマーカーを引いておくこと。 |                      |   |

【返還誓約書の提出について】

該当するいずれかの□に✓すること。(提出予定の場合は提出予定年月も記載)

提出済み       提出予定 (平成 年 月 大学へ提出予定)

【口座振替(リレー口座)加入申込の手続きについて】

該当するいずれかの□に✓すること。(手続き予定の場合は予定年月も記載)

手続き済み       手続き中       手続き予定 (平成 年 月)

提出または手続きが確認できない場合、申請を受け付けません。

【記入上の注意】

- 「課程」欄は、該当するいずれかの□に✓すること。
  - 「現住所」は大学へ届け出ている住所を記入すること。貸与終了後に連絡先が変更となる場合、返還のてびき(13頁)を参照のうえ必ず機構に届け出ること。
  - 「教育研究活動等の業績」欄は、該当する数字を○で囲むこと。ただし、専攻分野に関連した業績に限る。
  - 「教育研究活動等の業績」欄に○を付した項目について、裏面にそれらの要旨を800字程度で記載すること。なお、論文、著書及び受賞については、それぞれ作成又は受賞の年月を記入すること。また、発表、学会誌等は、その名称、巻、号等を記載すること。
  - 大学院における成績証明書及び特に優れた業績であることを証明する資料を必ず添付すること。(成績証明書は「教育研究活動等の業績」欄で「授業科目の成績」を選択していない場合でも提出が必要。)
- (注) これは様式1-1(裏面)です。印刷は、様式1-1表裏の両面刷りとすること。